

# ルワンダ難民支援へ

## AMDAが絵はがき販売



ルワンダ難民支援のためにAMDAが販売を始めた絵はがき

ルワンダからのメッセージを受け取って——。AMDA(本部・岡山市榴津)は11日、ザイールで暮らすルワンダ難民を支援するため、難民キャンプで暮らす男性が描いた絵はがきの販売を始めた。

作者は二昨年夏にルワンダを逃れ、現在、ザイール・カレへの難民キャンプで暮らすグラフィックアーティスト、タケグラ・ニジェマナ・アーメルさん(24)。ルワンダでは写真製版師として働いていたが、戦火を

逃れ、ザイールに避難した。作品は、赤ちゃんを背負って洗濯する母親、ひたすら彫刻に打ち込む男性など、キャンプでの難民の暮らしぶりを素朴に描いている。

ザイールでは1994年4月に内戦がほっ発。人口約750万人のうち、約50万人が虐殺され、約200万人が隣国のザイールやタンザニアなどに逃げ込み、今も難民生活を送っている。

料金は1セット20枚組みで1000円(送料は1セット200円)。収益金は全額、AMDAのルワンダ救援プロジェクトにあてられる。申し込みはAMDA事務局「ルワンダ難民絵はがき係」(086・284

・7730)。